

財政と租税

現代社会

憲法

政治

経済

国際社会

これから

今日の問い

政府は経済でどんな役割を果たし、その費用はどうまかなっているのだろう。

読み終えたら、最後の「問いへの答え」を見る前に、自分の言葉で答えてみよう。

1 財政の役割

政府の経済活動

ざいせい
財政

政府が収入を得て、支出を行う経済活動。

こうきょうざい
公共財

道路や公園など、みんなが利用する財やサービス。

しょとくのさいぶんばい
所得の再分配

所得の差を小さくするはたらき。

国や地方公共団体が、収入を得て支出を行う経済活動を**財政**という。収入のおもなものは税金(租税)で、支出は、公共事業や教育、社会保障、防衛などに使われる。1年間(年度)の収入と支出の計画を予算といい、国の予算は内閣がつくり、国民の代表である国会が審議して議決する。

財政には三つの役割がある。第一に、民間の企業では十分にまかなえない道路・公園・消防などの**公共財**を供給する**資源配分**の役割。第二に、税金や社会保障を通して所得の差を小さくする**所得の再分配**の役割。第三に、公共事業の増減などで景気の行きすぎをおさえる景気の調整の役割である。

役割	内容
資源配分	道路・公園などの公共財を供給する
所得の再分配	税や社会保障で所得の差を小さくする
景気の調整	公共事業や税で景気を安定させる

2 租税

税金のしくみ

ちよくせつぜい
直接税

税を納める人と負担する人が同じ税。

かんせつぜい
間接税

税を納める人と負担する人がちがう税。

るいしんかぜい
累進課税

所得が多いほど税率が高くなるしくみ。

税金は、納め先によって国税と地方税に分けられる。また、税を納める人と負担する人が同じ**直接税**と、ちがう**間接税**にも分けられる。直接税には所得税や法人税、相続税があり、間接税には消費税や酒税がある。

所得税などには、所得が多い人ほど税率が高くなる**累進課税**が採り入れられ、所得の再分配のはたらきをしている。一方、消費税は、所得に関係なく買い物の額に同じ割合でかかるため、所得の少ない人ほど所得にしめる負担の割合が重くなりやすい。税収だけで支出をまかなえないときは、国が**国債**を発行してお金を借りる。国債は利子をつけて返さなければならない国の借金で、発行が増えると、将来の世代の負担が重くなることが課題とされる。

問いへの答え

財政は、政府が収入を得て支出する経済活動で、公共財を供給する資源配分、所得の差を小さくする所得の再分配、景気の調整という役割をもつ。費用はおもに税金でまかなわれ、直接税と間接税があり、所得税には累進課税が採り入れられている。足りない分は国債でおぎなう。

次は ノート で、下線に語句を書きながら確かめよう →

